

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	外国青年（国際交流員）招致事業			事業番号	008-021
担当部署名	文化観光	局	文化国際	部	国際

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(4) 文化芸術の振興・国際交流の強化	
		有	取組の方向性	③姉妹・友好都市やアセアン諸国などの国際交流の強化				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—			
		有	取組	ゴール(17)パートナーシップで目標を達成しよう	ターゲット	17.14 ,17.16		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—		目標値	—	
2	関連計画		堺市国際化方針					
3	事業開始年度		平成 3 年度		点検対象年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)							

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	在住外国人を含む市民、本市職員、外国人賓客等	対象数	-			
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	地域レベルでの国際交流の推進、翻訳・通訳を通じた地域の外国人市民の生活環境整備、海外姉妹・友好都市との交流の促進、及び庁内の人材育成を推進することを目的とする。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>総務省・外務省・文部科学省の三省連携により実施されるJETプログラムに基づき、一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）を通して、国際交流員（CIR）を招致（英語圏1名、中国圏1名）し、次の業務に従事している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流関係事務（通訳・翻訳・監修、外国人賓客の接客等） ・外国人市民への情報発信における翻訳・監修 ・本市職員に対する語学指導への協力 ・地域民間国際交流団体の事業活動に対する助言 ・地域住民の異文化理解のための交流活動及び在住外国人生活支援 					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	一般財団法人自治体国際化協会					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	令和3年度	令和4年度	目標	目標
				令和5年度	令和7年度	点検対象年度	
				100	100	110	120
	行政資料等の翻訳、翻訳監修依頼件数	件	実績値	82	100		
		達成率	82%	100%			
	当該指標を選定した理由						
	行政資料の多言語化は不可欠であり、翻訳、翻訳監修依頼件数は本市の国際化への対応状況を図る指標として適当であるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法						
	庁内・外からの翻訳及び翻訳監修の依頼件数を計上。過去の実績から目標値を設定。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	令和3年度	令和4年度	目標	
				令和5年度	点検対象年度		
				5	8	25	
	講座開催、通訳協力等派遣の依頼件数	件	実績値	5	21		
		達成率	100%	263%			
	当該指標を選定した理由						
	国際交流員が庁内外への派遣を通じて活躍することで、翻訳等の依頼が増えることにつながるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法						
	出前講座や市民からの講座開催、庁内外の通訳協力依頼件数を計上。過去の実績から目標値を設定。						

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	外国青年（国際交流員）招致事業	事業番号	008-021
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	6,913	6,557	13,364	10,710	13,067	
13 財源内訳	国支出金		653	83		
	府支出金		0			
	市債		0			
	その他（職員公舎貸付料）	807	756	1,512	1,259	1,332
	受益者負担金(使用料、手数料等)			0		
	一般財源	6,106	5,801	11,199	9,368	11,735
14 人件費 (b)	2,220	2,220	4,210	4,210	4,185	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	9,133	8,777	17,574	14,920	17,252	

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								R4
16 事業費内訳	国際交流員報酬	R4	決算 6,913	6,913	費用弁償（その他） 【赴任・帰国旅費等】	R4	決算 115	115
		R5	予算 7,210	7,210		R5	予算 902	902
	建物借上料 【公舎借上】	R4	決算 1,192	21	自治体国際化協会負担金	R4	決算 1,200	1,200
		R5	予算 1,375	139		R5	予算 1,200	1,200
	共益費 【公舎借上】	R4	決算 89	1	傷害保険料負担金	R4	決算 43	43
		R5	予算 96	0		R5	予算 46	46
	その他使用料及び賃借料 【公舎借上】	R4	決算 194	194	渡航費用負担金	R4	決算 251	251
		R5	予算 267	267		R5	予算 474	474
	外国青年（国際交流員）招致 事業正会員負担金	R4	決算 184	184	その他（旅費、印刷製本費等）	R4	決算 529	446
		R5	予算 184	184		R5	予算 1,313	1,313

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 行政資料等の翻訳、翻訳監修依頼件数	件	82	100
② 上記①にかかる年間経費	千円	4,653	8,199
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	56,744	81,990
備考（算出についての説明等）		本事業に係る一般財源を年間経費として算出	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

- 18 令和4年度においては、新型コロナ禍で中止・延期となっていた多くの国際交流事業等が徐々に再開の兆しを見せ始めたこともあり、国際交流員の出務依頼数や行政資料等の翻訳・翻訳監修依頼件数が増加した。しかしながら、令和2年度初旬から未着任であった中国圏国際交流員の着任にかかる人件費増のため、「Ⅳ. 事業の効率性」の単位当たりの経費が前年度比約45%増となっている。
- 19 単位当たりの経費は増加しているものの、国際交流員の活動は、国際交流関係業務のみならず市民向け異文化理解にも大きく貢献していることに加え、招致に係る経費は、国から地方交付税による財政措置があるため、市が直接雇用することや民間業者委託で実施するより費用負担が少ない。さらに、JETプログラムによる研修支援体制も整っており、質の高い活動と市民サービスが提供できるものとなっている。総じて費用対効果の高い事業であると評価できる。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

- 19 現在、堺市には約16,000人の外国人が在住しており、国際交流員は、生活情報のほか、災害情報、緊急を要する情報等を多言語化し、発信している。また、庁内における急な通訳対応や、市民ボランティア通訳では対応できないセンシティブな通訳を要請された場合にも対応している。
- 今後、更にグローバル化が進み、行政資料の多言語化は不可欠となってくることから、質の高い翻訳及び高い語学能力、国際的な視点での対応の必要性はより高まってくる。さらに、アフターコロナにおける海外姉妹・友好都市等との幅広い分野での交流を促進していくためには、国際交流員の存在を欠かすことはできない。
- 令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で未着任となっていた中国圏国際交流員が着任し、中国語においても迅速な情報発信ができるようになった。また、国際交流員の情報発信ツールとして、既存であったFacebook（英語版）に加え、Facebook（中国語版）、Instagram（英語版、中国語版）の開設を行った。行政情報、観光情報、イベント情報等発信をネイティブスピーカーの視点で行うことにより、外国人市民に対する正確かつ迅速な情報発信が可能となった。
- 以上のことから、本事業は、本市の国際化の推進に寄与するものであると評価できる。